



新潟明訓高等学校同窓会・会報

# 明訓同窓

## 明訓の絆



同窓会長  
生野 昭雄

この度、新潟明訓高校同窓会長を拝命しました平成4年卒の生野昭雄と申します。渡辺惇夫前会長から並々ならぬ重責を引き継がせていただきました。皆様とともに母校の益々の発展に向けて力を併せていきたいと思います。

我が母校は2021年に創立100周年を迎えました。ここまで素晴らしい伝統を積み重ねてくださった先輩方、さらには教職員の皆様、明訓高校を支えてくださっている全ての方へ感謝申し上げます。これまでの輝かしい歴史を振り返り、伝統の重みを感じると同時に、これからの未来に向けてさらに発展していく決意を新たにす瞬間となりました。

ご存じの通り、我が明訓は好学を胸に燃える青年達が集まり、自ら先生方を探し講習会を組織し開設したものであり、そこには設立者も経営者もそこに学ぶ青年達であったと言われています。全国的にもこのような設置の経緯は大変珍しく、このことから

発行所  
新潟市江南区北山1037番地  
新潟明訓高等学校同窓会  
会長 生野 昭雄



- 綱 領
- 一 母校愛精神の昂揚
  - 二 伝統保持と敬愛
  - 三 会員の連繫と相互扶助

も「好学」をベースに、「自治」「協力」「質実」「奉仕」という校訓が脈々と受け継がれていることがわかります。明訓生が活き活きと学び、多感な青春時代を多くの友人と過ごし、学業はもちろんのこと部活動や各種行事等を通じ、お互いを理解しあい、刺激しあい、高めあうことで、これからの時代をリードできる素養が育まれているものと思えます。また高いレベルで文武両道を実践しており、明訓ブランドは新潟県内ではもちろん、県外からも注目される全国区の確固たる私学の雄へと進化しています。

現在、急速に少子化の波が押し寄せてきており、私学における学校運営は必ずしも安泰という時代ではなくなってきています。また多様な学び方、多様な進路の可能性がある中、我が明訓も先を見据えた新しいステージに向けて進んでいくこととなります。1年1年、伝統を積み重ねる我が母校に対して温かく見守りながら、現役明訓生が自信と誇りをもって学校生活を送り、個性溢れる生徒が多く集まる、そんな活力ある明訓高校であり続けるよう、我々同窓生も一致団結し明訓の絆を深めていこうではありませんか。今後ともよろしく願っています。

2024年

総会・懇親会 開催日決定!

〈新潟〉  
同窓会本部

11/2 (土)

16:00～総会、17:00～懇親会  
会場：新潟グランドホテル

〈東京〉  
首都圏新潟明訓会

11/9 (土)

12:00～14:00  
会場：明治記念館

〈大阪〉  
関西新潟明訓会

11/23 (土・祝)

13:00～  
会場：グランヴィア大阪

詳しくはQRコードをチェック!

## ご挨拶



理事長  
小泉 一樹

同窓生の皆様、本年は新年早々に能登平  
島地震に見舞われ石川県輪島市等に甚大な  
被害を招き、本県にも被害が及びました。  
私の住んでいる新潟市西区寺尾周辺や黒埼  
地区においては液状化現象で建物が傾いた  
り、道路が陥没、隆起したりといった被害  
が発生して、現在もなお建物の解体や道路  
の修復作業が行われている状況にあります。  
同窓生の皆様の中にも被害に遭われた方々  
には慎んでお見舞い申し上げる次第です。  
さて、本年五月二十五日に、ANAクラ  
ウンプラザホテルにおいて本校の前理事長  
伴昭彦先生のお別れの会を挙行致しました。  
新潟市長を始め経済界・教育界・法曹界の  
各界から、故人を偲び多数のご参列を頂き、  
伴前理事長の人脈の広さに改めて敬服する  
ばかりでした。同窓生の皆様からも多数ご  
参列いただきましたこと、この場を借りて  
感謝申し上げます。

伴前理事長は、昭和四十年六月から本校  
の理事に就任し、同四十八年五月から理事  
長に就任され令和元年十月に退任されるま  
での四十有余年、理事長として務められま  
した。この間、本校の運営に当たっては充  
実した質の高い教育によって生徒の能力を  
最大限に引き出し、大学進学率を始め県内  
高校の上位となる実績を上げ、高い評価を  
得る実績を残されました。また、中央区川

岸町の校舎の老朽化に伴い、現在の江南区  
北山に新校舎を建設し、人工芝グラウンド、  
屋内練習場、体育館等在校生の教育環境の  
充実・改善に尽力されました。

伴前理事長の本校に対する情熱と並々な  
らぬご尽力によって「新潟に明訓あり」と  
いう礎を築いていただいたことに對し、改  
めて感謝の意を表する次第です。

私は、令和元年十一月に本校の理事長に  
就任してから五年を経過しますが、教育の  
問題についてはまだまだ勉強中の身にあり  
ます。しかし、中長期的な問題として、少  
子化が進み、新潟県教育委員会の試算では、  
新潟県内における中学校卒業生数は、令和  
十一年までに約四千三百人、同二十一年ま  
ではトータルで約七千五百人の減少が見  
込まれるということです。他校と同じ横並  
びの考え方ではなく、魅力のある特長を有  
した学校になるべく、努力を積み重ねなけ  
ればならないものと考えます。

新潟県内はもちろん、隣県あるいは全国  
に向けて「新潟に明訓あり」と、特色ある  
存在になれるよう努力をしていきたいと思っ  
ております。そのためには同窓生の皆様のご  
支援・ご協力が欠かせないものと考えてお  
ります。これからも宜しくお願い致します。

## ご挨拶



校長  
中山 道夫

同窓会員の皆様には、日頃から本校の教  
育活動にご理解・ご協力を賜っております  
ことに心から感謝申し上げます。

四月五日の始業式を経て、六日には中学  
校一一七名、高等学校三七五名の入学を許  
可し、中学校三五八名、高校一〇八八名、  
生徒総数一四四六名で新年度のスタートを  
切りました。県内外を問わず、昨今の急速  
な少子化の進展により、生徒募集に苦勞す  
る学校が少なくない中、大勢の生徒が本校  
を志願してくれることに感謝の念と責任の  
重さを感じているところであります。

昨年五月の新型コロナウイルス感染症の五  
類相当への緩和から一年以上が経過し、社会  
はすっかり脱コロナが定着したように感じて  
います。本校でも、今年三月に高校一年生を  
対象とするMEGAS（海外研修）をポスト  
ン・ニューヨーク、ハワイ、オーストラリア、  
東南アジアの四コースで実施し、六月には五  
年振りにグラウンドに棧敷を設置し、中高  
合同の体育祭を開催することができました。  
さて、在校生の様子ですが、部活動等  
は、昨年暮れ、全国高校駅伝大会に出場し  
た本校の女子駅伝チームが一時はトップ集団  
で都大路を快走し、最終的には十位に入賞す  
るといふ活躍を見せてくれました。さらに、  
この夏には、陸上競技部、剣道部がインター  
ハイに、放送部、生物部、文芸部、書道部、

写真部、将棋部が全国高総文祭に出場する  
など明訓の名を全国に広めてくれました。

また、高いレベルでの文武両道を掲げる明  
訓として、今春も東京大学や東北大学などの  
難関国立大学や新潟大学をはじめとする  
医学部医学科、早稲田、慶應義塾などの難関  
私立大学にも多数の合格者を出しています。  
「人生百年時代」という言葉があります。

が、国連の推計によると二〇〇七年に日本  
で生まれた子どもの半数は一〇七歳まで生  
きるとされています。つまり、高校生年代  
以下の子どもたちにとっては、すでに「人  
生百年時代」が現実のものとなっています。  
その一方で生産年齢人口の減少やグローバ  
ル化の進展等により、社会構造や雇用環境  
は大きく変化しており、さらには、「エネル  
ギー問題」や「気候変動」、「国際紛争」な  
どの、いわゆるグローバルリスクの克服も  
急務となっています。

「変動性」、「不確実性」、「複雑性」、「曖  
昧性」を表す英単語の頭文字を並べた「V  
UCAの時代」という言葉に示されるよう  
に、あらゆる分野で環境が激変し、世界が  
混沌とした時代に突入しようとしている  
ま、世界的な視野を持ち、主体的に判断し  
て行動し、使命感を持って課題を克服でき  
る人材が求められています。

明訓が掲げる「好學 自治 協力 質実  
奉仕」の校訓は、これら時代の要請に十分  
応えられるものと考えています。今後とも  
変化に機敏かつ柔軟に対応しつつも、明訓  
として貫いていくべきものは何かを忘れず、  
職員一丸となって教育に取り組んでまい  
る所存でありますので、同窓会員の皆様には  
引き続きご理解・ご協力を賜りますようお  
願い申し上げます。

# 伴昭彦前理事長の 「お別れの会」を執り行いました。

去る5月25日(土) 11時、新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟において、伴昭彦前理事長の「お別れの会」を執り行いました。

多数の方々のご参加をいただき、改めて前理事長の遺徳を偲ぶとともに、ご参会いただいた方のみならず、これまで関わってくださった全ての方々に心から御礼申し上げます。

伴理事長は昭和48年5月31日に学校法人新潟明訓高等学校の理事長に選任され、令和元年10月に退任されるまで47年間にわたり理事長を務められました。その間、学校経営においては多様で充実した質の高い教育、及びきめ細かい運営を推進してこられました。進学においては生徒一人一人の能力を最大限に伸ばすきめ細かい進路指

導により、高い大学進学率を成し遂げました。また、平成16年8月には現在の江南区北山に校舎を全面移転という大事業を成し遂げました。

県下最大級の敷地面積を持つ我が校は、教育環境が充実し、最新の設備が揃い、生徒の個性が最大限に発揮できる環境が整っています。

これまでの功績に改めて敬意を表するとともに、母校の更なる発展のために我々も力を併せて行く所存です。



同窓会本部 (新潟)

令和6年度  
開催のご案内

同窓会本部 (新潟)  
令和6年11月2日 (土) 16時～  
(懇親会・17時～)  
会場：新潟グランドホテル

■会費：10,000円 (税込)

会費は当日受付で現金でお支払いください。お釣りのないようにご用意ください。

■申込期限：10月28日 (月) まで

■申込方法は下記の通り

①電話で学校事務局 (0251-25712131) に「お名前、氏名、住所、電話番号」を伝えてお申し込みください。

②ホームページに掲載の申込書に必要事項を入力の上、FAXでお送りください。

■その他

・キャンセルにつきましては、10月30日 (水) 13時までにお申し込みがあった場合はキャンセルを承ります。それ以降のキャンセルにつきましてはお受け出来かねますので、何卒ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

上げます。後日、会費徴収させていただきます。  
・キャンセルの連絡は学校事務局 (0251-25712131) に電話でお伝えください。Web・メール・FAXではキャンセル受付いたしません。

総会・懇親会 次第  
1部 総会  
2部 懇親会  
アトラクション・明訓吹奏楽部による演奏会  
(19時頃 閉会予定)

昨年の本部総会・懇親会

(2023年11月4日開催)

本部長交代、および本役員改選 2023年11月4日 (土) 新潟市のホテルにおいて、令和5年度新潟明訓高校同窓会総会が行われました。議案にて「役員改選」があり、前会長の渡辺惇夫氏から退任の意向が述べられました。その後、後任の選考に移り、審議の結果、前副会長の生野昭雄氏が同窓会長に就任することが承認されました。併せて役員の変更が行われ、新たに副会長、監事の就任、渡辺前会長が顧問として就任することも承認されました。

その後、懇親会が開催され、4年ぶりの対面での開催に参加者の皆さんは素晴らしいひと時を過ごしました。



総会、渡辺前会長によるご挨拶



総会終了後の懇親会



令和5年  
同窓会本部総会

同窓会本部総会は新型コロナウイルス感染症により令和2年から3年連続で開催を断念しましたが、令和5年は通常通り開催いたしました。

令和4年度会務報告

1 会議

(1) 総会

令和4年11月 書面決議

(2) 役員会

令和5年8月3日 (木) 19時

於：新潟卸センターNOCプラザ

・令和5年度 本部総会 開催可否について

・役員改選について

令和5年9月14日 (木) 19時

於：新潟卸センターNOCプラザ

・役員改選について

(3) 常任委員会

令和5年10月12日 (木) 19時

於：新潟市万代市民会館2階

「2027」

コミュニケーションルーム(大)

首都圏同窓会

令和6年度  
総会・懇親会のご案内

首都圏明訓会の総会  
11月9日(土) 12時～14時  
於：明治記念館  
会費 男性 12,000円  
女性 10,000円

9月7日に首都圏明訓会総会の連絡を送付致します。  
返信は10月15日(火)まで  
連絡先 事務局(奥田)

携帯 090-8487-8797  
パソコン mayujpon@au.aone-net.jp

令和5年度 開催報告

首都圏明訓会

11月11日(土) 開催報告

2023年11月11日(土) 東京都港区の明治記念館において、令和5年度首都圏新潟明訓会総会及び懇親会が行われました。秋葉会長の挨拶に始まり、本部同窓会からは生野新会長、中山校長、渡邊教諭、また関西新潟明訓会から阿部副会長が参加されました。

関西同窓会

令和6年度  
総会・懇親会のご案内

関西新潟明訓会  
令和6年11月23日(土・祝) 13時～  
会場：ホテルグランヴィア大阪

令和5年度 開催報告

関西新潟明訓会親睦懇親会

(11月25日) を開催!

2023年11月25日(土) 大阪市内のホテルにおいて、令和5年度関西新潟明訓会親睦懇親会が行われました。本間会長の挨拶に始まり、本部同窓会からは生野会長、中山校長、渡邊教諭、また首都圏新潟明訓会からは小林副会長が参加されました。令和年度の卒業生(現・大学生)の参加もあり、100周年の伝統に培われた先輩と後輩による「明訓の絆」を改めて感じることができました。懇親会では楽しいアトラクションもあり、全員の校歌斉唱で締めくくりました。参加された皆さん、大変ありがとうございました。卒業生の皆さん、来年度以降、是非ともお越しください!



現在、ジャズシンガーとして活躍している熊倉由美さん(卒業生)から素敵なお披露もあり、心地よい時間を過ごしました。参加された皆さんは100周年を超えた明訓を誇りに思いながら、楽しいひと時を過ごしました。首都圏で活躍している卒業生の皆さん、ぜひご参加ください。  
ご不明な点等ありましたら同窓会本部 (meikun-dousoukai@niigata-meikun.ed.jp) までお問合せください。



関西新潟明訓会のグループLINEを作成いたしました。詳しくはWebをご覧ください。

# ★学★校★案★内★

## 体 育 祭

6月7日(金)に令和6年度体育祭が実施されました。昨年は教室でのリモート観戦でしたが、今回は令和元年以来となる観戦ができました。熱中症対策の観点から9月に開催されていた体育祭が6月になり、気温や天候にも恵まれた中での実施になりました。感染症対策で中止していた「騎馬戦」や「棒引き」、クラス対抗の「背中渡りリレー」など、令和元年度までの明訓の体育祭種目が復活し、連合対抗リレーでは明訓レコードを更新するなど、大いに盛り上がった体育祭になりました。また、競技中では各連合の応援歌が響き合い、大きな声を出して互いの健闘を称え合う場面も見られました。

明訓の体育祭は、運営する高校生徒会執行部だけでなく、中学生徒会や体育委員、放送部、ダンス部、連合長をはじめとする連合幹部など、全校生徒が作り上げていく体育祭です。明訓の校訓である「自治」のもと、これからもより良い体育祭を作り上げていきたいと思えます。



## 特別文化行事

五月二十日に特別文化行事「さかなクンのギョギョっとびくろおさかなのお話」が行われました。さかなクンの生い立ちから環境問題まで幅広い内容でご講演いただき、生徒たちも濃密な時間を過ごせたようです。参加生徒の声を紹介します。

「興味を持ったことに対する行動力がすごく印象的でした。また、新潟にまつわるさかなクン自身の体験談や新潟の魚に関する話も聞くことができ、魚をより身近に感じられるようになりました」(1年3組・Sさん)

「楽しいと思えることをさかなクンくらい突き詰めると皆の為にもなることを知りました。燃え上がるような情熱が伝わってきて、興味があることにはこれくらい熱意がなければいけないんだ！と刺激を受けました。功績や名誉を前面に出したりせずに『とてもありがたいことに』と話す謙虚な姿勢や、聴衆へのさりげない気配り、ナイスなリアクション、陰なる凄まじい努力などに感動しました。さかなクンのような人柄になれるよう私も頑張ります」(2年3組・Tさん)



「さかなクンが海洋研究を目指した経緯を知り、自分の将来は可変であり、やりたいという強い意志があればその可能性は広がっていくことを再認識しました。海や魚の世界は広く、その輝かしい世界を壊さないためにも私たちが普段から海洋保全を心がけることが重要なのだと感じました」(3年8組・Hさん)

さかなクンは、講演後も控室でたくさんイラストを描いてくださっていました。この明訓に贈呈されたイラストは、九月に行われる明訓祭で特別に展示されました。

## 明 訓 祭

今年の明訓祭は五年ぶりに一般入場者の受け入れを再開したうえで、九月六日(金)に開催されました。平日の開催にもかかわらず約千二百名の来場者数を数え、多くのお客様にお越しいただき、大きな盛り上がりを見せていました。

今年度の受賞クラスは次の通りです。

今年の明訓祭のテーマは「From now」君たちは明訓でどう生きるか?でした。このテーマ、From nowには「これから、今から」という意味があり、また「君たちは明訓でどう生きるか?」は、「自分はここからどのように明訓で成長していきたいのか、明訓をどのように発展させていきたいのか」という生徒への問いかけの意味が込められています。

クラス企画では生徒一人ひとりが、問いかけに対する自身の答えを表現することで、幅広い来校者に明訓生の根本となる努力と芸術性をアピールした作品がみられました。

また、リバイター・スクエアでは、高度なダンスの技術や歌唱力を発揮し、目の前で練り上げられた華やかなパフォーマンスに会場は大いに沸き上がりました。

さらに、第二体育館では新たな試みとして新潟県生徒会連盟防災部による防災に関する展示や企画が催されました。従来からの明訓の伝統に加え、新しいものをどんどん創り出す明訓生の「無限の可能性」を今年もうかがい知ることができた素晴らしい明訓祭でした。



- ◎明訓大賞 三年九組 (映画部門)
- 部門賞
  - 展示型教室作品 二年八組
  - 参加型教室作品 一年九組
  - 教室演劇 三年四組
  - 映画 三年九組
  - ステージ 三年二組
  - 屋外アート 三年三組
- 大衆賞 三年九組
- CM賞 三年九組
- パネル賞 三年八組
- ◎中学明訓大賞 三年A組 (教室作品部門)



# 新潟明訓高等学校 令和6年度大学入試 大学合格状況 (5月2日現在)

## 1、国公立大学の合格状況

**国公立大学合計 現役 122名(既卒18名) 合格** ※延べ数

【難関国立 現役7名合格 (既卒2名)】

大学	現役	既卒	合計
北海道大	1		1
東北大	4		4
筑波大	1		1
東京大		1	1
東京工業大	1		1
名古屋大		1	1
合計	7	2	9

【国公立大学合格 内訳】

大学	現役	既卒
帯広畜産大	1	
北海道大	1	
岩手大	2	
東北大	4	
秋田大	1	
山形大	5	
福島大	1	
筑波大	1	
群馬大	4	
埼玉大	1	2
千葉大	3	
お茶の水女子大		1
東京大		1
東京外大	1	
東京学芸大	2	
東京工業大	1	
横浜国立大	1	2
上越教育大	5	
長岡技術科学大	1	
新潟大	36	6
富山大	2	
金沢大	2	
山梨大	1	
信州大	1	
名古屋大		1

名古屋工大	1	
京都教育大		1
和歌山大	1	
大分大	1	
琉球大		1
釧路公立大	1	
秋田県立大	1	1
山形県米沢栄大	1	
山形保健医療大	1	
福島県立医大		1
会津大	1	
高崎経大	1	
前橋工科大	1	
東京都立大	3	
横浜市立大	1	
新潟県立看護大	1	
新潟県立大	21	1
三条市立大	1	
長岡造形大	1	
富山県立大	2	
都留文科大	1	
山梨県立大	1	
諏訪東京理大	1	
長野大	1	
島根県立大	1	
国公立大学 合計	122	18

【国公立医学部医学科 現役0名 (既卒4名)】

大学	現役	既卒	合計
新潟大	0	3	3
福島県立医大	0	1	1
合計	0	4	4

## 2、私立大学の合格状況

**私立大学 現役 686名 (既卒69名) 合格** ※延べ数

【私立医学科 現役4名 (既卒9名) 合格】

	現役	既卒	合計
岩手医大		1	1
東北医薬大		1	1
埼玉医科大	1		1
昭和大	1		1
杏林大		1	1
東京女子医大	1	1	2
日本大		2	2
マリアンナ医大		2	2
東海大	1		1
兵庫医大		1	1
合計	4	9	13

【難関私立大学 現役86名 (既卒19名) 合格】

	現役	既卒	合計
早稲田大	6	2	8
慶応大	3	2	5
上智大	2		2
東京理大	8	1	9
青山学院大	5	2	7
学習院大	3		3
中央大	12	3	15
法政大	10	3	13
明治大	9	3	12
立教大	11	2	13
関西大	0		0
関西学院大	1	1	2
同志社大	6		6
立命館大	10		10
合計	86	19	105

早慶上理 19名 (既卒5名)  
GMARCH50名 (既卒13名)  
関関同立 17名 (既卒1名)

【日東駒専現役88名合格 (既卒15名)】

	現役	既卒	合計
駒澤大	20	4	24
専修大	18	3	21
東洋大	27	5	32
日本大	23	3	26
合計	88	15	103

## 3、短期大学・専門学校

・短期大学合格者 5(うち進学者 4) ・専門学校合格者 7(うち進学者 6)

## 4、本校生徒の大学・短大進学率

(現役：大学・短大進学者数 341名 卒業生数 390名)

**進学率 87.4%** ( 昨年 77.5% 一昨年 85.0% )

明本堀藤平沼二新那中中中中鶴土竹齋齋小小後加金鬼大遠伊伊石石五十浅1
道間 田石田宮田野丸谷田川木田石藤藤林林藤納塚丸月藤藤藤原橋勇優実

星藤藤平樋頓池竹滝清佐佐佐佐佐齋小小小小木小荻小伊板五十有阿2
野瀬井野口所主島口水藤藤藤藤木藤侯林林村野野川藤垣五十嵐田部

長野中田田高清水澤佐酒齋小小銀木川川小宇岩伊石砂天井阿3
谷崎川中中橋水田藤井藤林島田村崎上柳美野野田川川澤津

茂佐櫻坂後小小岸樞狩金小小大今石五有荒安青青4
野藤井井藤島池 根野子川川平井田嵐澤井達木木

高鈴鈴杉杉清佐後小解黒木岸金加鍵岡大大大大遠遠今石荒5
藤木木戸浦水藤藤島良井村 井藤富村谷滝滝保藤藤泉山川

丸松松本星早長根楡中永遠土千曾白清佐久木杵鎌大大稻板阿安青相6
山崎井間野川部津井山田山屋田我倉水藤保伏淵田宮谷村垣部

廣平樋長西友土武竹高菅三佐近小小後甲黒金加笠小岡大遠岩岩伊石池五十阿安浅7
澤井口川川坂橋内橋井林藤藤藤藤藤西藤野谷子藤原柳村桃藤船崎藤倉田部達見

山山本細古長長長野野坪田高堰鈴鈴鈴佐佐佐佐坂坂小窪金片小小歌伊石石石8
口川間川澤川川川島崎井中橋 木木木藤藤藤藤藤間下口竹田田岡

中中永田島嶋坂堺近小木木大梅上伊伊伊石池五十安9
島川井村田田田香藤藤林村村橋川野藤藤藤川田嵐藤

桑川大大大梅歌石五五十荒10
原内竹関江川川垣嵐嵐井 部田田岡田取上澤山井内山塚野

渡渡山八矢丸松松馬中中中渡遠坪千田高高高諏新白櫻坂坂牛
邊邊本幡代山田崎場林塚井部山川野邊山橋橋佐保石井爪井腸

令和6年卒
全日制第75回

終身会費納入者御芳名
(敬称略)
令和六年四月十五日現在

会費納入状況
◎入会金
全日制75回生 390名
390,000円
◎終身会費
全日制75回生 390名
1,950,000円
◎合計 2,340,000円

同窓生の皆様へ
登録情報の変更はお済ですか？

引越しや結婚などで住所や名前に変更があった場合は、事務局までお知らせください。登録台帳を更新いたします。「情報変更フォーム」から登録変更連絡が行えます。事務局あてのTELでもお受けしています。

https://meikun-dousoukai.securesite.jp/form/

- ご本人確認のため、折り返しご連絡させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
●ご家族などが代理入力する場合は、本人の許可をご確認のうえお願いします。許可を得ずに発生したトラブルは、本会は責任を負いません。
●お送りいただきました情報は新潟明訓高等学校および同窓会からのお知らせに利用させていただきます。

パソコン・スマホ対応
同窓会ホームページからアクセス！

